

自然現象を「災害」にさせない

関東大震災100年記念連続学習会

今年には10万人を超える犠牲者を出した未曾有の大災害・関東大震災から100周年の年です。そしていま、首都直下地震、南海トラフ地震の切迫が指摘されています。しかし、石原都政以来の都政は、革新都政が築きあげた予防原則に立脚した防災のとりくみをなおざりにして、東京への過度の集中と超高層ビルによる開発をすすめて、東京の脆弱性を加速させています。

今回は、元東京大学地震研究所所長の平田直名誉教授をお迎えして、首都直下地震への備え、災害に強い東京の実現について考えてみたいと思います



関東大震災で焼け出された人々



関東大震災100年 首都直下地震に備える

講師 **平田直** (東京大学名誉教授)

日時: 9月12日(火) 18:30 開会

会場: 全労連会館2階ホール

参加費: 500円 ※ 申し込み不要



最寄り駅: JR・地下鉄茗茶の水駅徒歩8分



ONLINE は表記のアドレスかQRコードから「申込フォーム」に入り、手続きをお願いいたします。

<https://forms.gle/TrM84TjRm9bfeUGX8>

主催

東京災対連・革新都政をつくる会・防災首都圏懇談会・新建築家技術者集団東京支部

(連絡先) 東京災対連

〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館5階 東京地方労働組合評議会内
tel 03-5395-3171 fax 03-5395-3240

<後援 東京民報社>